



平成19年12月号

No.585

SETOUCHI

広報

# せとうち

## 「にっぽん丸」ようこそ瀬戸内へ！



10月26日、大型クルーズ客船「にっぽん丸」が初寄港、観光振興の新しい時代を迎えました。

(写真：古仁屋港岸壁、送迎セレモニーでの八月踊り)

### 今月の主な記事

- 「にっぽん丸」初寄港…………… P 2
- 輝け！U・Iライフ…………… P 4
- 新しい健診・保健指導制度…………… P 5
- 第23回町民体育大会…………… P 6
- お知らせ…………… P 8
- まちの話題…………… P11
- 議会便り…………… P18
- 戸籍の窓…………… P22

### 人口のうごき

平成19年11月1日

総人口	10,705 (± 0)
男	5,117 (+ 1)
女	5,588 (- 1)
世帯数	5,582 (- 5)

カッコ内は前月との比較

発行・瀬戸内町役場 編集・企画課 ☎0997-72-1111  
瀬戸内町ホームページ <http://www.amami-setouchi.org>  
瀬戸内町特産品販売組合「ゆりどろ」 <http://www.yuridoro.com>



# 豪華客船「にっぽん丸」初寄港！

～古仁屋港（海の駅）フル稼働、観光「新時代」へ～



ようこそ 瀬戸内へ！

10月26日、全国公募による観光客300人を含む乗員・乗客450人を乗せた大型豪華客船「にっぽん丸」（商船三井客船所有、約2万2千トン、全長167メートル）が古仁屋港（せとうち海の駅）へ初寄港し、午前10時の入港に合わせ、多

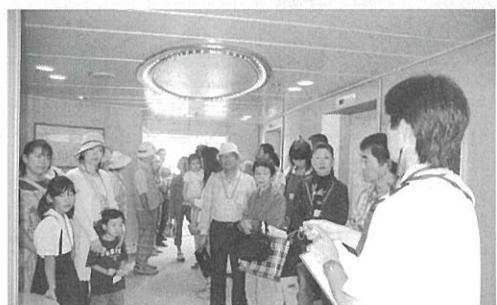
くの町民が見守る中、古仁屋港の岸壁で歓迎セレモニーが行われました。力強いホノホシ太鼓の披露に続き、大島紬姿の女性による花束の贈呈や「きゅら島観光受入連絡協議会」の豊隆文会長から記念品として、白川光晴船長に黒糖焼酎が贈られました。船長以下乗客を前に、房町長は「海の駅完成後、初の大規模クルーズ客船の入港を大変嬉しく思います。瀬戸内

の自然・文化・歴史に触れ、地元の食材を賞味され、瀬戸内の魅力を体感してください」と歓迎のあいさつを述べました。

下船した観光客らはバス9台に分かれ、大島本島・加計呂麻観光のオブショナルツアーに参加し、奄美の自然や民俗、史跡を訪れました。「戦跡の島 加計呂麻ツアー」や「奄美の奥座敷・瀬戸内 自然と民俗巡り」コースなどの町内観光ツアーも提供され、ガイドブックにはない自然や文化に触れていました。

また、一般公募により町民50人が「にっぽん丸」に招待され、地上8階、地下2階の船内を見学しました。ホテルを思わせるプールやシアターホール、ラウンジ、ショーホール、ダイニングルームなど、居心地よく優雅な船内に参加者たちは驚きと憧れの歓声をあげていました。

港では、さんご塩や焼酎、きび酢、大島紬などの地元特産品の販売のほか、海の駅では「マグロの解体ショー」が行われ賑わいを見せていました。



2班に分かれ船内見学へ

午後6時の出港時には多くの町民が見送りに詰めかけ、

送迎セレモニーが行われ、八月踊りや島唄、子供たちのフラダンスなどが披露されました。乗客もデッキに出て見まねで踊るなど、町民と一体となって瀬戸内の文化を楽しんでいました。最後は、五色テープの舞う中、乗客と町民が互いに手を振り合い、再会を願う感動の別れとなりました。

四国から夫婦で参加した乗客の一人は「青い海は比べようもなくきれい。安脚場の戦跡がよかった。プライベートでもまた来たい」と話していました。また、コーデイネーターや乗客からは「町内の所々にポスターが張ってあった

り、大勢の方が見送りに来てくれて、町を挙げて歓迎してもらい感激しました」といった感想が寄せられていました。船内を見学した古仁屋在住の60代の夫婦も「ホテル並みの豪華な船内を見て、ますます乗りたくなった。食事や景色を楽しみながら、いつの日か夫婦で旅したい」と語っていました。

古仁屋港には、来年2月に「ばしふいっくびーなす」、4月に「ふじ丸」が寄港する予定です。今後、古仁屋港（せとうち海の駅）を活用した大型客船寄港による観光客の受入れが本格化し、本町の観光振興も新しい時代を迎えます。



テープ舞う感動の別れ



歡・送迎セレモニー



大島紬は記念写真の的



賑わう特産品コーナー



花束贈呈



海の駅でのマグロの解体ショー



拍手喝采を浴びたフラダンス



ホノホシ太鼓の歓迎

優雅な船内



エンターテイメントホール



洋上60mの船内プール



一周できるデッキを闊歩



見まねで踊る姿も



シアターホール



ミッドシップバー



記念の楯の数々



カメラにおさめる姿も



高知山展望台から



コーラル橋から



海峡を滑るように走る「にっぽん丸」



古仁屋港フル稼働！

各所より臨む「にっぽん丸」

来町記念の楯も展示されています。



いざ接岸！



# 奄美…自分を触発する「最高の自然」がそこにある

～地球の「気」の動きと体内の世界をぶつけ合わせて～



## 奄美との出会い

その場所に寝泊まりして空気を吸いながら、自然から得たものを自分という変換器を通して表現するのが私の仕事です。若い頃から旅を繰り返



堀 晃 作品：「岬」



### 【プロフィール】

堀 晃 さん。1952年山口県生まれ。現代日本絵画展大賞、モダンアート展協会賞のほか、絵画界の芥川賞と言われる安井賞に6回ノミネートなど受賞多数。2005年に瀬戸内町後援を得て、嘉徳に創作空間「ムンユスイ」を立ち上げる(「ギャラリー嘉徳」併設)。毎日新聞にて「奄美だより」を月に一回連載中。

してきたのですが、7年前奄美に出会いました。ここには、自分を触発し、刺激してくれる最高の自然がありました。その中でも嘉徳の「坂道」が特に刺激的でした。坂道を降りて開けた先に川があり、砂浜があり集落がある。その風景を呼吸しながら、自分を見つめ、自分を描いています。

描きたいものは？

「雲」が面白いですね。「水」と「風」と「月」と「雲」。地球の「気」の動きと自分の体内の世界を突き合わせ、ぶつけるところから絵がうまれます。日々自然に触れることによって、自分の中に蓄積された、例えば「山」の概念を絵にしていきま

ます。奄美の自然に感動したのです。バショウやアカショウビ画」と言われることもありすが、そうではありません。奄美の「新しい素材」を描くことによって、壁を乗り越えることを教えてくれた人だと思っています。

現在、奄美にはたくさんさんの絵描きがいると思いますが、誰よりも大自然をよく知っているの

です。最高のもので育つてうらやましいと「よそ者」の私は思

います。小説家でも音楽家でも真摯な芸術家ほど瀬戸内町の自然環境に心が躍るはずで

す。寅さんの映画も加計呂麻で大きく膨らみました。これから先もたくさんさんの夢を持つ人がこの地を目指すでしょう。

### 新しい時代へ

田中一村もそうだったと思います。若者が勉強して島に戻ってきた時、美術家としての仕事をし、生活していける瀬戸内町であって欲しいですね。その時、創作空間「ムンユスイ」が力になると思っています。若い力がどんどん芸術を目指す町になって欲しいです。世界的な唄者を輩出した町ですから、これに美術が加わればもっと豊かになっていくでしょう。地道に息の長いアトリエ(創作の場)であれたらいいですね。

## 人間の振れ幅が「豊かさ」の指標

埋もれているとてつもないエネルギー、田舎の強みを活かし、ありのままに

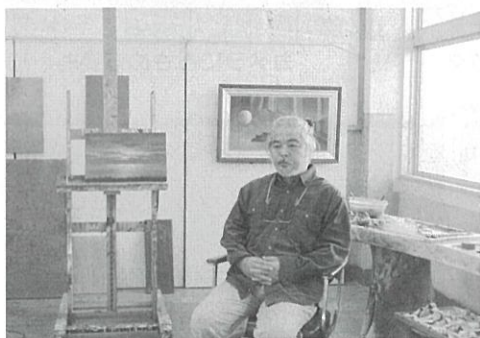
### 誰にでもできる

「創作」は、老人でも子供でも誰にでもできます。特殊な世界のものではありません。家造りも野菜作りも創作です。創作の始まりは「イメージ」で、イメージに栄養を与えてくれるのが「自然」です。自然に触発を受けながら創作を重ねていけば、芸術に耐えうる体力が生まれると思

います。力強い価値観を世界に提言できる体力のことです。

「豊かさ」の哲学を

「豊かな時間」と言いますが、何が「豊かさ」なのかを考えることが大切だと思います。私は「振れ幅」が大きいことが「豊



創作空間「ムンユスイ」にあるアトリエにて

かな時間」だと思っています。「振れ幅」は視野や認識の広がりのことです。昼間、汗水流して働いた島人が、ガジュマルの木陰で夕方、集まっているのを見る時、その豊かな時の過ごし方に感動します。小さな人間の力と大きな自然の力との交歓風景です。海に向こうからやってくる神様の足音が聞こえるようです。夕焼けは美しい、曇り空も雨も台風も同じほど美しいのです。大きな自然が相手ですから、できるだけ自分の「振れ幅」を大きく持つて見つけたいものです。

瀬戸内町にはとてつもなく大きなエネルギーが埋もれていると感じます。それを育てる土壌も島人の心の中になつぷりとして残っています。田舎であることに恥じるでもなく、自慢するでもなく、ありのままに受け入れた時、本当の「自由」を手にできるのだと思います。瀬戸内町のライバルは沖縄やハワイではなく、瀬戸内町自身、自分自身なのです。これ以上豊かで強力なライバルは世界中どこにもいません。



# 平成20年4月から 新しい健診・保健指導の制度がはじまります

## ○ 健康診断のしくみが大きくかわります

- 40歳から74歳までの全ての人を対象となります。
- 今まで健診を受けてこなかった被扶養者の人も退職者された人も受診します。
- メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)に着目し、生活習慣病を予防します。
- 健診結果による必要度に応じて、本人に適した保健指導が行われます。
- 国民健康保険や健康保険組合などの医療保険者が実施主体となります。



## ○ 新しい健診・保健指導はこうに変わります

① 特定健診の対象となる人  
40歳～74歳の人すべて

40歳以上74歳以下の、国民健康保険や被用者保険(健康保険組合や共済組合などの医療保険)の被保険者と被扶養者の全員が対象となります。これまで健診を受けてこなかった被扶養者(家族)の人や、退職された人も受けることになります。

40歳 74歳

② 実施主体は医療保険者  
市区町村ではありません

これまで市区町村などで受診していた人についても、平成20年度以降は国保などの医療保険者が実施の主体となります。

市区町村 医療保険者

③ 健診・保健指導の内容  
メタボリックシンドロームに着目  
本人に適した保健指導を実施

これまでの健診では、病気ごとの早期発見・治療が目的とされ、健診後の指導も病気ごとに行われていました。しかし、平成20年度からは、メタボリックシンドロームおよびその予備群の人を発見し、生活習慣改善の必要度に応じた保健指導が行われます。これにより、受診者本人に適した指導を受けられるようになります。

なお、内臓脂肪蓄積のリスクを判定するため「腹囲測定」の検査項目が新しく加えられます。

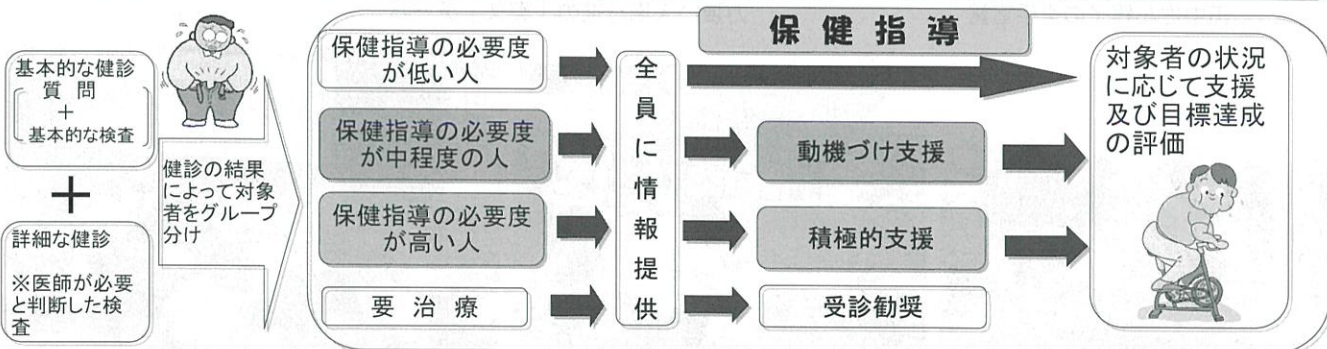
④ 特定健診の受け方  
医療保険者からお知らせがあります。

実施主体である国保や被用者保険などの医療保険者から、受診機関や受診日などについてのお知らせや受診券・利用券などが送られますので、指定の機関で受診してください。特定健診・特定保健指導は年に1回行われます。

⑤ 健診データの管理・活用  
医療保険者が保管・分析

健診結果のデータ管理は、国保や被用者保険などの医療保険者に義務づけられます。そのため、過去の健診データと比較・分析するなど、効果的な保健指導が可能になります。

## ○ 新しい健診・保健指導の流れ



## ○ 新しい保健指導のレベル別内容

◆ 改善の必要度「低」の方へ  
**情報提供**を行います。

【対象】健診受診者全員  
【期間】健診結果と同時

生活習慣病についての理解を深め、自らの生活習慣を見直すきっかけとなる情報が提供されます。

◆ 改善の必要度「中」の方へ  
**動機づけ支援**を行います。

【対象】意思決定の支援が必要な人  
【期間】30分程度～1日

生活習慣病を改善するため、受診者本人が目標を設定し、すぐに実践できるような支援が行われます。

目標

◆ 改善の必要度「高」の方へ  
**積極的支援**を行います。

【対象】継続的な支援が必要な人  
【期間】3ヶ月～6ヶ月間程度

生活習慣を改善するため、受診者本人が目標や行動計画を設定し、継続的な取り組みが実践できるような支援が行われます。



# 第23回町民体育大会

～広げようスポーツ 興そう瀬戸内～

10月21日、「広げようスポーツ 興そう瀬戸内」をスローガンに、第23回町民体育大会が清水運動公園で開催され、晴れ渡った秋空の下、町内7地区の選手たちが35種目に熱戦を繰り広げました。

「中央」「古仁屋西」「東方」「山郷」「西方・油井」「実久」



南相馬の美味しいお米が待っている！（女子俵運搬リレー）

「鎮西・請・与路」の7地区編成による対抗戦になってから3年目となる今年、実久チームの3連覇を阻み、「東方」チームが優勝しました。

今年「増殖リレー」と「お掃除レース」の2種目が新種目に加わり、選手たちはとまどいながらも笑顔で楽し

んでいました。また、新たに設けられた、入場行進や応援内容・選手編成など一致団結して大会に臨んだチームに贈られる「特別賞」には、来賓による審査により「実久」チームが選ばれました。



田中さん親子の選手宣誓



力強い入場行進の「実久」チーム



幼稚園児の「マスゲーム」



保育園児の「玉入れ」



転倒続出！（新・増殖リレー）



熟練の技健在！（安全運転）

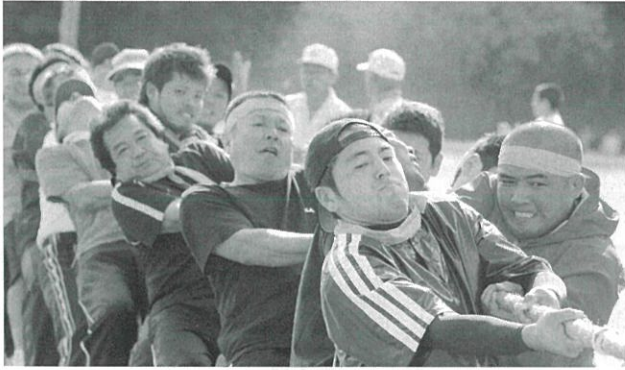


スポーツ少年団対抗（大縄跳び）



慎重にコントロールして（新・「お掃除レース」）





山郷のお家芸（綱引き）



慌てずに、でも急いで！（大玉おくり）

◆ 第23回町民体育大会成績表 ◆

◎総合団体

順位	地区名	得点	順位	地区名	得点	順位	地区名	得点
1	東方	335	2	実久	309	3	西方・油井	274
順位	地区名	得点	順位	地区名	得点	順位	地区名	得点
4	鎮西・請・与路	264	5	古仁屋西	249	6	山郷	223
順位	地区名	得点	特別賞					
7	中央	209	実久					



記録更新なるか！注目の100m

◎種目別記録（★は大会新記録）

種目名		1位	記録	2位	3位
60m (60歳以上)	男	徳原 重成 古仁屋西	9秒1	伊村 直次 西方・油井	佐多 和宏 東方
60m (50歳以上)	女	福田 久美 東方	9秒7	森田 敏子 鎮西・請・与路	満 政代 実久
60m (90kg超級)	男	清原 和樹 鎮西・請・与路	8秒6	茂岡 男樹 実久	山倉賢一郎 東方
100m (50歳以上)	男	田原 清宏 古仁屋西	12秒9	西村 孝弘 実久	永井 徳博 西方・油井
100m (40歳代)	女	浜田ユカリ 鎮西・請・与路	17秒3	平由岐代 山郷	平田 恵子 西方・油井
	男	佐藤 大典 実久	12秒4	永井 健一郎 中央	一松 荘八 西方・油井
100m (30歳代)	女	税所 亜由美 西方・油井	15秒1	保島 みのり 東方	児玉あずさ 鎮西・請・与路
	男	渡 洋月 中央	12秒1	静 賢一 古仁屋西	林 和樹 鎮西・請・与路
100m (30歳未満)	女	永久 美幸 東方	14秒9	生田 恵美 実久	林実千代 実久
	男	栄 博也 古仁屋西	12秒7	高野 真聡 東方	吉永竜司朗 鎮西・請・与路
スプーンリレー 三人四脚 ボール蹴りリレー	女	実久	1分27秒2	西方・油井	西方・油井 東方 山郷
増殖リレー	女	★山郷	2分29秒2	古仁屋西	東方
増殖リレー	男	★中央	2分15秒3	実久	西方・油井
輪投げ競争	女	西方・油井	22個	東方	実久
お掃除レース	男	実久	7分22秒7	東方	西方・油井
スポ少大縄飛び	女	阿木名複合	30回	薩川 S P	古仁屋西 古仁屋西ニバス男子
俵運搬リレー(10kg)	女	西方・油井	1分20秒4	実久	鎮西・請・与路
俵運搬リレー(30kg)	男	東方	2分25秒4	中央	古仁屋西
ボウリング	女	山郷	1分54秒9	中央	実久
ホノホシの波	男	実久	1分50秒3	古仁屋西	西方・油井
1,000m	男	永久 美幸 東方	3分38秒6	野村 恵 実久	数島すずか 中央
1,500m	男	佐多 勝 東方	4分31秒3	福元 康亮 東方	福原 成起 古仁屋西
ゲートボール競争 安全運転	女	鎮西・請・与路	13個	山郷	古仁屋西
ピン釣り競争	女	西方・油井	1分44秒2	実久	西方・油井
丸太切り競争	男	鎮西・請・与路	2分57秒2	実久	東方
大玉おくり	女	山郷	6分55秒7	実久	山郷
むかで競争(女子)	女	山郷	1分08秒8	東方	西方・油井
むかで競争(男子)	男	鎮西・請・与路	2分28秒6	東方	西方・油井
綱引き	男	西方・油井	2分23秒4	実久	古仁屋西
小・中・高地区別 対抗リレー	女	山郷		東方	西方・油井・ 鎮西・請・与
対抗リレー	男	東方	1分04秒3	古仁屋西	西方・油井
対抗リレー	女	鎮西・請・与路	57秒9	東方	山郷
対抗リレー	男	東方	1分01秒4	山郷	中央
対抗リレー	女	古仁屋西	51秒3	実久	中央



まだまだ走れます（一般地区別対抗リレー）



婦人による「マスゲーム」



応援にも熱が入りました



見事V奪還！「東方」チーム





## 放送大学

### 4月入学生募集!

放送大学では平成20年度第1学期(4月入学)の学生を募集中です。

放送大学はテレビ等の放送を利用して授業を行う通信制の大学です。心理学・福祉・経済・歴史・文学・自然科学など、幅広い分野を学べます。働きながらの大学卒業やキャリアアップ、退職後の生きがいづくりなど、様々な目的で幅広い世代、職業の方が学んでいます。資料を無料で差し上げています。お気軽にお問い合わせください。

### 募集期間

12月15日～2月29日

### 問い合わせ先

放送大学鹿児島学習センター  
☎099(239)3811

## 平成20年度入学生・受講生募集中!

NHK学園では、広域通信制高等学校、福祉通信教育、及び生涯学習通信講座の学生・受講者を募集しています。まずは、無料の案内書・願書をご請求ください。

### 【募集内容】

- ・高等学校 普通科  
(NHKの放送を利用して3年で高校卒業資格取得)
- ・専攻科 社会福祉コース  
(介護福祉士受験資格取得・2年制)
- ・社会福祉士養成課程(社会福祉士受験資格取得・2年制)
- ・生涯学習通信講座(趣味から資格まで全200コース以上)

### 【募集期間】

- ・高等学校 普通科 2007年2月1日～4月20日
- ・専攻科 社会福祉コース  
一次募集2006年12月20日～2007年1月21日  
二次募集2007年2月20日～3月17日
- ・社会福祉士養成課程  
一次募集2006年12月1日～2007年1月23日  
二次募集2007年2月1日～3月5日
- ・生涯学習通信講座 通年申込受付

【問い合わせ先】NHK学園 ☎042-572-3151(代表)  
案内書請求フリーダイヤル 0120-068881

## 鹿児島県最低賃金が時間額619円に!!

鹿児島県最低賃金が平成19年10月26日より時間額619円に改正されました。

鹿児島県最低賃金 (地域別最低賃金)	最低賃金額	効力発生日
	時間額(円)	
	619	平成19年10月26日

★鹿児島県最低賃金は県下の全ての労働者に適用されます。ただし、別に定める産業別最低賃金の産業に該当する場合は、当該最低賃金も適用されます。

【問い合わせ先】鹿児島労働局(☎099-223-8278)・各労働基準監督署

## 木ぎれはいりませんか?【募集】

瀬戸内事務所では、道路沿いの伐採作業に伴い発生した木ぎれを無料で受け入れてくださる方を募集します。

【置き場所】国道58号線沿いの空き地(阿木名)

【提供物件】木ぎれの積み込み、運搬を自前で行える方

【申込締切】平成19年12月14日(金)まで

【申込方法】申請書等の提出(詳細は電話で問い合わせください)

【問い合わせ先】瀬戸内事務所建設課 ☎72-1231

## ◆◆平成20年度 保育所入所申込みについて◆◆

平成20年4月から保育所に入所を希望する児童の申込受付をします。

【対象保育所】高丘保育所

【入所基準】(本町に居住する者で、次のいずれかに該当する児童)

- ①児童の親が家庭の外で仕事をしている。
- ②児童の親が家庭で児童と離れて日常の家事以外の仕事をしている。
- ③死亡、行方不明、拘禁などの理由により親がいない家庭。
- ④親が出産の前(8週)、出産後(8週)、病気、負傷、心身障害の状態にある。
- ⑤親が家庭内の病人や心身障害を有する人の看護にあたる。
- ⑥家庭に自然災害などの不幸があり、その復旧にあたる間。
- ⑦町長が認める前号に類する状態にあること。

### 【提出書類】

- ①保育所入所申込書
- ②世帯の成人全員の就労証明書
- ③世帯の成人全員の課税証明書(平成19年度)
- ④世帯の成人全員の確定申告書写し、又は源泉徴収票(平成19年分)
- ⑤入所を希望する児童の健康診断書(新規入所のみ)
- ⑥その他の証明証等(疾病、病人看護、出産「母子手帳の写し」)

【申込み期間】平成20年1月7日から2月8日まで

【問い合わせ先】町民課児童母子係 ☎72-1060(直通)

## 12月10日(月)から12月16日(日)は「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」です。

平成18年6月に、北朝鮮当局による人権侵害問題に関する国民の認識を深めるとともに、国際社会と連携しつつ北朝鮮当局による人権侵害問題の実態を解明し、その抑止を図ることを目的として、「拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害問題への対処に関する法律」が施行されました。

北朝鮮当局による人権侵害問題に対する認識を深めましょう。

【問い合わせ先】鹿児島県地方務局 ☎099-259-0680



**農業委員会委員選挙  
人名簿登録申請につ  
いて**

選挙管理委員会では、毎年農業委員会委員選挙人名簿の調製を行っています。一定の要件を満たす方には世帯ごとに農業委員会委員選挙人名簿登録申請書を配布していますので、1月10日までに瀬戸内町農業委員会へ提出して下さい。

**○該当者の要件**

- ① 20年1月1日現在本町に住所を有する者
- ② 年齢20歳以上の者
- ③ 農業従事者該当者イ・10アール以上の農地を耕作している者ロ・イの耕作を営む者と同居の親族または親族の配偶者で年間60日以上農業に従事している者。

**【問い合わせ先】**

瀬戸内町農業委員会  
(☎72) 11119、  
又は瀬戸内町選挙管理  
委員会 (☎72) 11  
11 (内159)

**平成19年度自衛官等募集案内**

募集種目		募集人員	資格	受付期間	試験期日
大卒等	貸費学生 技術	陸・海・空 若干名	大学の理学部、工学部の3・4年次又は大学院修士課程在学	12月上旬～20年1月中旬	20年2月上旬
高卒等	2等陸・海・空士 男子	陸海空 約4,760名 約1,260名 約1,740名	18歳以上27歳未満の者	年間を通じて行っていきます。 ※1	受付時にお知らせします。 ※2
中卒	自衛隊生徒	陸 約250名	中卒（見込含）17歳未満の男子	11月1日～20年1月8日 ※1	1次20年1月12日 2次20年1月25～28日
免許取得者等	医科・歯科幹部	陸・海・空 約10名	医師・歯科医師の免許取得者	① 4月1日～5月11日 ② 10月1日～10月26日	① 5月25日 ② 11月16日
その他	予備自衛官補 一般	約1,060名	18歳以上34歳未満の者	① 1月9日～4月9日 ② 7月17日～10月15日	① 4月14日～16日 ② 10月20日～22日
	予備自衛官補 技能	約200名	18歳以上で国家免許資格等を有する者（資格により55歳～53歳未満の者）		

(注) ※1 平成20年3月中学校・高等学校卒業予定者、中等教育学校前期課程終了予定者又は中等教育学校卒業予定者の受付については、上表にかかわらず、文部科学・厚生労働両省から示された期日以降実施します。

※2 平成20年3月高等学校卒業予定者又は中等教育学校卒業予定者のための採用試験は、原則として平成19年9月16日以降に行います。

その他、詳細については、それぞれの募集要項又は自衛隊地方協力本部で確認してください。

◎問い合わせ先 自衛隊奄美大島駐在員事務所 ☎0997-53-9103  
役場総務課消防防災係 ☎72-1111(内線178)

**ねんきん  
コーナー**

**国民年金保険料は遅れず  
に納めましょう！**

国民年金には、65歳から受給できる老齢年金だけでなく、もしもの時にあなたの大きな支えとなる障害年金・遺族年金があります。

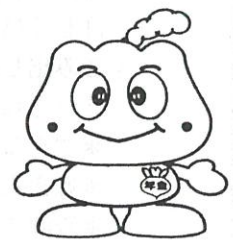
しかしながら、保険料の未納が続くと将来受け取る年金額が少なくなるばかりか、老齢年金の受給権そのものが発生しないことがあります。

また、納付が遅れることで障害年金・遺族年金を受け取ることができない可能性もあります。

保険料未納がないかお近くの社会保険事務所でご確認ください！

●納付書がお手元にならない場合は再発行いたしますので、お近くの社会保険事務所までご連絡ください。

●一部納付（一部免除）が承認になっている方（4分の3免除、半額免除、4分の1免



年金キャラクター  
「もくもく」

除）は、納めるべき保険料を納めないと、その期間は免除の扱いではなく未納扱いになります。

●遡って過去の分を納めることのできるのは2年前の分までです。納付できる期日がありますのでご注意ください。

●保険料未納が続くと・・・電話や通知での保険料納付案内や、社会保険事務所の職員や国民年金推進員がご自宅にお伺いすることがあります。

●保険料納入のご案内をしているにもかかわらず、保険料の負担能力がありながら保険料未納が続く場合は、所定の手続を踏まえたうえで、財産を差し押さえる強制徴収を実施しています。

**【問い合わせ先】**

奄美大島社会保険事務所  
☎0997(52) 4341



## ☆ 滞納整理強化月間 ☆

瀬戸内町役場・徴収対策課では、11月1日～12月28日まで滞納整理強化月間と位置づけ、昼夜を問わず税金及び住宅使用料等の戸別訪問徴収を行い滞納整理に取り組んでいます。早めの納税にご協力ください。

なお、長期にわたり滞納金を納付されない方や職員が戸別訪問・電話・督促状等で催告しても納付しない悪質滞納者については、法的処分（差押え等）を実施しています。厳しい状況の中でも町民の多くの方が真面目に納付されています。滞納のある方は分割納付するなど、ご協力をお願いします。

## ☆ 便利で安心 口座振替にしてみませんか！ ☆

徴収対策課では、税金及び住宅使用料について口座振替の推進を行っています。お申し込みは各金融機関で行って下さい。【問い合わせ先】役場徴収対策課 ☎72-1117

## ★★ 節子最終処分場へのゴミの直接搬入が可能になりました！！ ★★

平成19年12月1日より、衛生センターでの許可証の発行を廃止し、直接、節子最終処分場へ持ち込むことが可能になりました。なお、タンス・布団類の可燃系の粗大ゴミにつきましては、これまでどおり、衛生センターへ直接お持ちください。最終処分場への搬入時間（午前8時30分から午後5時まで）及び搬入可能品目には変更はありません。

## ★★ 年末年始のごみ及びし尿収集について

1年のうちでゴミが一番多く出されるのがこの時期です。燃えるゴミ、燃えないゴミ、資源ゴミなどの年末の最終収集日は、地区によって異なります。ゴミ出しのルールを守り、さわやかな気持ちで新年を迎えましょう。

**瀬戸内町の年末年始のごみ及びし尿収集、最終処分場への搬入は次のとおりです。**

日付	ごみ委託収集	し尿委託収集	最終処分場への搬入
12/31(月)	休み	正午まで	平常どおり
1/1(火)～1/3(木)	正月休み	正月休み	正月休み
1/4(金)	平常どおり	平常どおり	平常どおり

**名瀬クリーンセンターの年末ごみ特別受入時間は次のとおりです。**

日付	搬入時間
12/27(木)～28(金)	午後4時45分まで（昼食時間開放あり）
12/29(土)～31(月)	午後6時まで（昼食時間開放あり）
1/1(火)～3(木)	正月休み
1/4(金)から平常時間	（午前8時30分～12時、午後1時～4時45分）

\*なお、燃えるゴミ以外は搬入できませんのでご注意ください。

詳しくは、名瀬クリーンセンター（☎0997-53-2969）へお問い合わせください。

<ごみ出しの指定日に出せなかった場合の搬入場所について>

それぞれの分別の基準に従って搬入してください。

\*燃えるゴミ・・・名瀬クリーンセンターへ

\*燃えないゴミ、粗大ゴミ・・・町内各最終処分場へ

\*資源ゴミ（空缶・ペットボトル・新聞・雑誌・段ボール）・・・衛生センターへ

ただし、年始の1/1(火)～3(木)は正月休みのため、いずれの場所へも搬入できません。

【問い合わせ先】役場生活環境課 ☎72-1113、衛生センター ☎72-1973



## ◆◆ ご存じですか？クーリング・オフ制度 ◆◆

消費者が訪問販売や役務（法律で定められたもの）について必要ないと思った場合、法定の契約書面を受け取った日から8日以内であれば、クーリング・オフ（無条件で一方向的な申込みの撤回や契約の解除）ができます。方法は、ハガキに図のように記載のうえ押印し、証拠が残るように両面をコピーして配達記録郵便等で送ります。クレジット契約をしている場合は、クレジット会社にも同様に通知します。

### 契約解除通知

◆契約日  
◆商品名  
◆価格  
◆担当者名

上記日付の全ての契約を  
都合により解除します

平成 年 月 日

住所  
氏名 印

### 郵便はがき

○ ○  
代 ○ ○  
表 ○ ○  
責 会 ○ ○  
任 社 ○ ○  
者 殿

### 【問い合わせ先】

(消費生活相談窓口)  
・瀬戸内町役場商水観光課 商工労政係  
☎(72)1114  
・鹿児島県消費生活センター  
☎099(224)0999



## ～農業委員先進地視察研修レポート・数原菊美さん～

瀬戸内町農業委員会では、10月3～5日にかけて指宿市の農業先進地視察研修を実施しました。視察研修先は坂元マンゴー園、農事組合法人小川共同農場、(有)田中植物園、県フラワーセンターの4箇所です。坂元マンゴー園では、低樹高による省力・高品質・早期摘果による大玉中心の追求で法人化も検討しているようです。また、1,600頭の肉牛を飼育している小川共同農場では、糞尿対策を有効に活用し、有機肥料として販売している循環型農家を実践していました。田中植物園では沖縄及び奄美大島と連携した原木の生産・導入による生産性向上を目指した経営の仕方、県のフラワーセンターではウィルス等に強い種・苗による優良種苗の増殖、供給また新技術や新品種の実証展示、指導者や生産者の研修、花き経営の相談実施などの説明を受けました。

今回の視察研修地の農家においてはコスト削減に徹底的に取り組み経営の安定を図っていました。また、小川共同農場では、瀬戸内町の競りで購入した牛も多数飼育されているようで、「子牛の生産を増やしてほしい」と望まれていました。

瀬戸内町では11名の農業委員の方がいます。指宿市の農業と規模は違いますが今回の研修で学んだことを10年後、20年後の集落の繁栄する姿を想像して農政活動及び農業振興に日々頑張っています。

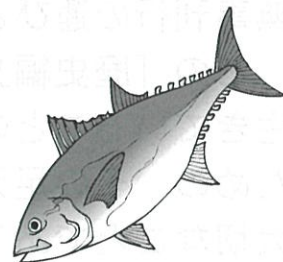
県フラワーセンター  
電照キクハウスにて



## ～『いやしの食探し』のレシピ(調理法) コンテスト～

加計呂麻島・請島・与路島の特産品の「きび酢」やクロマグロの内蔵部分等を用いた料理のレシピをお寄せください。

- ◎材料費 2千円以内  
(4人分)
- ◎調理時間 90分以内
- ◎クロマグロの内蔵部分等やきび酢などの特産品、調味料、基本的な調理器具は、実行委員会で用意します。



■食材に使用するクロマグロの内蔵などの部位は、あらかじめ左記の問い合わせ先にお申し込みください。後ほど、配布日と配布場所を連絡します。

◎材料、特殊な調理器具、盛付用の器は出場者持参。

### ■応募方法

所定の応募用紙と完成写真を添えて、事務局宛に応募下さい。(何口でも応募可)

■応募用紙は、町役場企画課(☎72-1112)等で配布しています。また町ホームページからも入手可能です。

■賞及び賞品があります。

■応募者には、参加賞として抽選でプレゼントがあります。

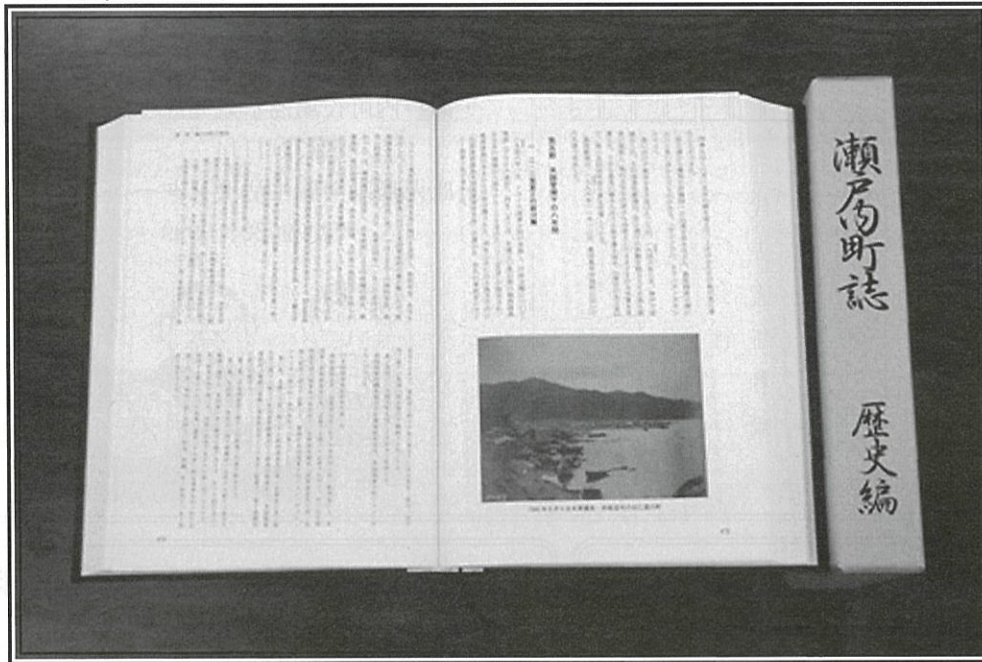
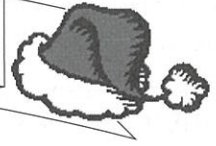
■締切 1月16日(水)

■一次審査は書類選考・二次審査は該当者に連絡いたします。





## 図書館からのお知らせ



『瀬戸内町誌 歴史編』  
が刊行されました。

永年の懸案でありました『瀬戸内町誌 歴史編』がこのほど完成し、無事刊行の運びとなりました。

この「歴史編」の刊行は、わたくしたち町民にとっては自分がいま生きていることのルーツを探ることであり、私たちが日々生きていくための、その足元を、土台を固めていくためにも、なくてはならない大切なことでありました。

わたくしたちは、すでに昭和52年に『瀬戸内町誌 民俗編』をものにしていましたが、それ以来実に30年ぶりの刊行となりました。

わたくしたちが永年背負ってきた宿題を、ここによりやく成し遂げることができたという達成感を、町民一人ひとりの方々に味わっていただくためにも、できる限り多くの町民に目を通していただくことを願っております。

この『瀬戸内町誌 歴史編』を、家庭の蔵書の一冊として加えていただき、子や孫に伝えていっていただければありがたいことだと考えております。

『瀬戸内町誌 歴史編』は、B5判、880ページ。販売価格は、一部五千円です。

町内では、重野書店、ブックショップ吉谷、古仁屋書店にてご購入いただけます。





### 村田康司さん、卓球日本一!

接戦を制し、初優勝

10月13～15日、第7回全国身体障害者スポーツ大会「秋田わか杉大会」が開催され、鹿児島県代表として出場した本町出身の村田康二さんが見事、初出場場で初優勝を果たしました。

肢体1～6の1部（40歳未満）に出場した村田さんは、

広島と秋田の代表にいずれもフルセットの末、3対2で接戦を制し、全国優勝を飾りました。帰町後は、町身体障害者協会主催による祝賀会も開かれ、関係者とともに優勝の



メダルを胸に家族と喜びをかみしめる村田さん

喜びに浸っていました。

大会を振り返って村田さんは「緊張してどうなるかと思ったが、皆の声援を受けて練習の成果を出せたのが勝因。これからも卓球連盟と共に県大会5連覇に向けて頑張りたい」と語っていました。

### 観光振興へつなげて

義永秀親前町長、

海の駅へ大型テレビ寄贈

10月16日、義永秀親前町長より「せとうち海の駅」へ大型デジタルハイビジョンテレビが寄贈されました。

贈呈式で義永前町長は「武原ケーブルテレビの無償協力により、このテレビを通じ放映される本町の行事やイベントを多くの利用者や観光客の方へ知っていただき、観光振興につなげて欲しい」とあい



海の駅へ設置されたプラズマ50型テレビ

さつしました。これに対し、信島一管理組合長は「素晴らしいテレビをいただき心から感謝します。利用者に喜んでいただくよう大切に使用します」と謝辞を述べました。

### アイランドテラピー in 加計呂麻

全国各地からモニターツアーで19人来島

10月16～20日にかけて「アイランドテラピーinかけろまモニターツアー」が行われ、北は新潟から南は沖縄まで、全国各地から19人が来島しました。今年で2回目を迎えるモニターツアーは、奄美滞在型の健康づくりプログラムを体験してもらうことで、リピーターや新規訪問者の獲得を目指すものです。

癒しの島の体感を目的とするスケジュールには、シーカヤックやタラソ・アロマテラピー、島唄・島踊り体験のほか、クロマグロ餌付け、諸鈍シバヤ見学など、加計呂麻ならではの体験型プログラムが多く組み込まれ、参加者も初めての経験に満足していました。また、性別・年齢も異なる

参加者の個別のニーズに応えるため、「奄南」（瀬戸内町アイランドテラピー推進協議会）では、夜の生物観察やダイビング、シュノーケリング、ヨットセーリング、カラテラピーなどのオプションプログラムを用意し、加計呂麻をより深く知り感じてもらうための、きめ細かいサービスを提供しました。

エステサロンを経営する東京から来島した30代の女性は「インターネットで偶然知って応募しました。南の島の空気はおいしく、風もさわやかで、こんなに澄んできれいな海に初めて出会いました。自分の本来の姿でいっぱい笑えてスッキリしました」と感想を語っていました。



心地よい島唄のリズムを堪能する参加者

### 勇敢な行動に表彰状

決死の覚悟で急患搬送した「芳丸」の芳順一さんへ

10月22日、台風接近時、荒天にもかかわらず、救急患者を搬送する勇敢な行動をとった「芳丸」船長の芳順一さんに対して、町から表彰状が贈られました。救急搬送を行ったのは昨年7月12日で、台風4号の接近による荒天で、救急艇の出動も困難な中、決死の覚悟で与路島の救急患者を搬送しました。

芳さんは「与路島への入港は本当に命がけでした。二次災害もなく、患者も無事でしたとしました。もう2度と起こって欲しくありません」と当時を振り返っていました。



貸切船「芳丸」の芳順一さん



躍動感あふれる  
11演目が観客を魅了

国指定重要無形文化財  
「諸鈍シバヤ」



大屯神社境内で盛大に行われた諸鈍シバヤ

10月19日、国の重要無形民俗文化財「諸鈍シバヤ」が諸鈍の大屯神社で行われ、80年にわたり受け継がれてきた11演目を繰り広げ、観客を魅了しました。

シバヤは2部構成で、「楽屋入り」に始まり「高き山」までの11演目からなり、「サンバト」が種目ごとに口上を述べるかたちで進められました。紙面（カビディラ）をつけたの各踊りのほか、人形芝居の「玉露（タマティユ）」、「ユーモアに溢れ笑いを誘う

「ダットドン」や迫力に満ちた「シシキリ」など、躍動感あふれる演技は、境内を埋め尽くした400人の観客を魅了、会場から大きな拍手が寄せられていました。

諸鈍集落ではシバヤの継承に努めており、今年も人衆（にんじょう）に古仁屋高校生5人も加わったほか、諸鈍小中学校生や幼稚園児たちも紙面をつけて踊りに参加して、郷土が誇る伝統芸能の舞台を盛り上げました。

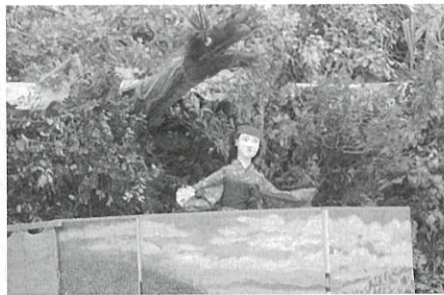
モニターツアーで東京から来島した60代の女性は「日本文化の原点を感じさせる脈々と伝わる文化財に感動しました。地域一帯となり、大人と子供が参加しているのも現代社会の良い見本になると思います」と感想を語っていました。



子供たちも参加した「ククワ節」



迫力に満ちた「シシキリ」



唯一の人形芝居「タマティユ」



ユーモラスな「ダットドン」



11演目を熱演した演者のみなさん



「スクテングワ」に観入る観客

2年連続「水難事故ゼロ」

古仁屋海上保安署へ「褒状」

10月22日、水難事故防止活動を推進し、夏期児童生徒の水難事故ゼロに貢献したとして、第10管区海上保安本部（中平和俊本部長）より古仁屋海上保安署（岩屋幹夫署長）に褒状が授与されました。

保安署では、管内の小・中学校のほか、古仁屋高校の海洋野外活動専攻生など1237人を対象に、水難事故防止講習会を実施し、啓発に努めてきました。現在も、地元高校からの海上保安官誕生を願いながら、来年の講習に向けてトレーニングを続けています。



水難事故ゼロを目指して（海上保安署の皆さん）



## 人とのふれあいを大切に

### 辻正司氏へ瀬戸内町 観光大使を委嘱

観光大使を委嘱



観光大使を委嘱された辻正司さん

11月2日、関東全域に福祉事業を展開する本町出身の2世、辻正司さんへ瀬戸内町観光大使が委嘱されました。辻さんは「人と人とのふれあいを大切に」をテーマに、葬祭事業や民間患者移送事業を展開するほか、福祉事業を通じて触れた深い人間愛を多くの人に伝えるため、写真詩集やCDを発売するなど、作詞や音楽活動にも取り組んでいます。委嘱を受けて辻さんは「光栄です。瀬戸内のPRに一所懸命努めます」と語っていました。また、辻さんからは瀬戸内町へ図書券（100万円相

当）の寄与もいただきました。ありがとうございます。

## 別世界が感性を刺激

### アクアート（水中展覧会） in奄美、蘇州沖で

in奄美、蘇州沖で

11月2日から4日の3日間「水中展覧会・アクアアートの奄美大島」が蘇州沖の水深10メートルの海中で行われました。これは、ダイバーでもある作家たちが、水中に作品を展示し、自然の大切さと新たなアートの可能性を追求する、世界でも類を見ない水中展覧会です。



水中に浮かぶ光の草原  
（作品「green field」）

海底の白い砂地に浮かび、浮力と水の動きにより立体的に揺れ動く芸術作品に、地上とは異なる別世界を感じ、観覧者たちは目をこらして海中

を覗きこんでいました。

今回で10回目を迎える節目の展覧会には9人の作家が8作品を出展、半潜水艇の周囲に展示し、船内から観覧したり、水中でのダイビングによる鑑賞となりました。出品者の一人、造形作家のふなだかよさんは「瀬戸内の海は海底の砂が白く、海も青くて透明感があります。作品も水中での波の動きや強さによっていろんな立体になってそれも楽しいですね」と語っていました。観覧者の一人は「海がなるところから来たので、海中自体がよかったです。潮騒を聞きながら観る、魚と一緒に海中で波に揺れ動く作品は変化があつて楽しかった」と話していました。



水中観光船「せと」から作品を眺める観覧者

## 伝統文化に誇りと自信

### 第2回島口・伝統芸能大会

11月3日、中央公民館において第2回子ども島口・伝統芸能大会が開催され、町内19の小中学校が参加、日頃継承に努めている郷土文化を披露しました。会場には学校関係者や保護者、地域住民などが多数詰めかけ、大人顔負けの島口や演技に大きな拍手をおくっていました。



【島口部門】最優秀賞の須子茂小学校

学校での総合学習の時間を活用したり、地域の高齢者から指導を受けて練習に励んできた島口の題材は、授業風景から農作業、伝承民話、ふる

さと自慢に至るまで、バラエティに富み、ユーモアに溢れ、会場を沸かせていました。また、八月踊りや棒踊りなど、地域ごとに異なる伝統芸能には、習熟したものも多く、審査員たちを悩ませていました。

審査の結果、島口部門では須子茂小中学校が、伝統芸能部門では篠川中学校がそれぞれ最優秀賞に輝きました。

【入賞者】最優秀賞以外

◎島口部門

（優秀賞） 諸鈍小中学校

（公民館賞） 与路小中学校

（努力賞） 池地小中学校

◎伝統芸能部門

（優秀賞） 薩川小学校

（公民館賞） 薩川中学校

（努力賞） 阿木名小中学校



【伝統芸能部門】最優秀賞の篠川中学校



**走り抜けた！  
ロマンと神秘の島・加計呂麻**

〜第20回加計呂麻

ジョギング大会〜

11月4日、「走ろう！『ロマンと神秘の島』感じて！加計呂麻の風』をテーマに加計呂麻島ジョギング大会が開催されました。20回の節目を迎える今大会には、過去最多の



一斉にスタートダッシュ

一松親子の選手宣誓



儀トンネルも初のコースに

630人がエントリーし、瀬相〜三浦間の各コース（3km、5km、10km、駅伝）を、秋の加計呂麻を感じながら、それぞれのペースで走り抜けました。大会の合間には、バザーや特産品販売のほか、地元の子どもたちによる八月踊りや棒踊りなどの伝統芸能も披露され、加計呂麻の自然と文化に触れ親しむ一日となりました。

また、20回を記念して「遠来賞」「ファミリー賞」「敢闘賞」の各賞が新設されたほか、公募が行われたTシャツのデザインには、曾於市在住の海老原新二さんの作品が採用されました。



「実久棒踊り」を披露する薩川中学生



多数上位入賞を果たした佐多クラブメンバー



好記録でゴール（10km優勝の石川選手）

**第20回加計呂麻島ジョギング大会 結果表**

( )内はタイム

【3km男子】

- 【1位】泉 頌馬 (0:10:38)
- 【2位】町田 優斗 (0:11:53)
- 【3位】信島 申治 (0:12:00)

【3km女子】

- 【1位】加藤 美友 (0:13:30)
- 【2位】野村 恵 (0:14:12)
- 【3位】田中 涼葉 (0:15:01)

【5km男子】

- 【1位】平川 正博 (0:19:15)
- 【2位】福原 成起 (0:19:30)
- 【3位】栄 光貴 (0:20:16)

【5km女子】

- 【1位】眞 美保乃 (0:26:15)
- 【2位】岩元 節子 (0:30:19)
- 【3位】川口 文乃 (0:31:57)

【10km男子】

- 【1位】石川 正俊 (0:34:04)
- 【2位】福元 康亮 (0:35:57)
- 【3位】佐多 勝 (0:37:55)

【10km女子】

- 【1位】数島 すずか (0:49:19)
- 【2位】永久 美幸 (0:51:43)
- 【3位】川村 三智子 (0:56:51)

【駅伝の部】

- 【1位】中村修平、豊田拓也、伊藤光介、野間伸哉 (0:39:21)
- 【2位】稲倉和幸、横地貴司、井上修士、久米えり (0:45:34)
- 【3位】篠原和孝、山元亮平、平山 司、郡山啓作 (0:47:33)

親子でゴール目指して



「ファミリー賞」受賞の眞さん親子



沿道でのあたたかい声援

大阪から15人で来島参加し、「遠来賞」を受賞した定次さん



敢闘賞の森謙一郎さん



海老原さん（左）デザインのTシャツ





## 初期消火へ感謝状

### 大島地区消防組合へ

#### 富田商事様へ

11月9日、火災発見時に機敏な対応をとったとして、富田商事株式会社へ大島地区消防組合（林康雄消防長）から感謝状が贈られました。

富田さんは去る7月3日、大湊地区での建物火災の際、迅速な119番通報を行った上、消火器を用いた初期消火活動を行うことにより、延焼を未然に防ぎました。模範的な行動を示した富田一正さんは、「消火器3〜4台を使って、社長と2人で夢中で消火しました。素早く消せて、2次災害に至らず良かったです」と話していました。



機敏な対応をとった富田一正さんへ感謝状

## 祝・薩川小学校創立100周年!

### 薩川文化祭も記念開催

11月11日、薩川小学校で創立100周年記念式典及び祝賀会が開催され、多くの学校関係者や卒業生、地域住民が参加し、歴史と伝統を誇る母校の節目の年を祝いました。

式典に先立ち、薩川小中学校による「薩川文化祭」が開かれ、子どもたちは総合的な学習や地域の伝統芸能の先生（ふるさと先生）から教わった島口、劇、八月踊り、棒踊りなど、バラエティに富んだ18の演目を披露し、集まった観客を魅了、祝典に花を添えました。



創立100周年記念碑除幕式



初披露された薩川太鼓



多くの出身者も参加した記念式典

午後からは小学校の校庭で記念碑除幕式が行われたのにつき、講堂で記念式典が、公民館広場では祝賀会が行われ、地域は終日、創立100周年の祝賀の喜びに浸っていました。



伝統をしっかり受け継ぐ薩川小学校児童15人



郷土の偉人「昇曙夢」の生涯を熱演

### 「広報せとうち」に広告掲載できます。

広告サイズ	広告掲載料（1回）
縦5cm×横8cm	5千円
縦5cm×横17cm	1万円

【問い合わせ先】 役場企画課情報政策係 ☎72-1112

### お詫び

11月号に掲載いたしました瀬戸内町中央公民館指定管理者の募集について、今回先送りとなり、関係者の皆様にご迷惑をおかけしましたこと誠に申し訳ありませんでした。

今後、瀬戸内町中央公民館指定管理者導入については、再度調査検討を行い、実施に向け取り組んでいきたいと考えていますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

瀬戸内町



# 議 会 だ よ り

## 平成19年第3回瀬戸内町議会定例会

### ◆ 議案等の議決結果

議案番号	件 名	議決結果	議決年月日
議案第83号	平成19年度瀬戸内町一般会計補正予算（第2号）について	原案可決	9.12
議案第84号	平成19年度瀬戸内町巡回診療施設特別会計補正予算（第2号）について	原案可決	9.12
議案第85号	平成19年度瀬戸内町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について	原案可決	9.12
議案第86号	平成19年度瀬戸内町老人保健特別会計補正予算（第2号）について	原案可決	9.12
議案第87号	平成19年度瀬戸内町介護保険特別会計補正予算（第2号）について	原案可決	9.12
議案第88号	平成19年度瀬戸内町古仁屋港上屋事業特別会計補正予算（第1号）について	原案可決	9.12
議案第89号	平成19年度瀬戸内町農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）について	原案可決	9.12
議案第102号	平成19年度与路港改修工事（1工区）請負契約の締結について	可 決	9.12
議案第90号	鹿児島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び鹿児島県市町村総合事務組合規約の変更について	原案可決	9.12
議案第91号	鹿児島県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少について	原案可決	9.12
議案第92号	瀬戸内町辺地総合整備計画の変更について	原案可決	9.12
議案第93号	瀬戸内町過疎地域自立促進計画の変更について	原案可決	9.12
議案第94号	新たに生じた土地の確認について（古仁屋地区）	原案可決	9.12
議案第95号	字の区域の変更について（古仁屋地区）	原案可決	9.12
議案第96号	新たに生じた土地の確認について（花天地区）	原案可決	9.12
議案第97号	字の区域の変更について（花天地区）	原案可決	9.12
議案第98号	新たに生じた土地の確認について（伊子茂地区）	原案可決	9.12
議案第99号	字の区域の変更について（伊子茂地区）	原案可決	9.12
議案第100号	教育委員会委員の任命について	同 意	9.12
議案第101号	監査委員の選任について	同 意	9.12
議案第104号	鹿児島県市町村土地開発公社定款の一部変更について	原案可決	9.26
議案第72号	平成18年度瀬戸内町一般会計決算の認定について	認 定	9.28
議案第73号	平成18年度瀬戸内町老人保健特別会計決算の認定について	認 定	9.28
議案第74号	平成18年度瀬戸内町巡回診療施設特別 会計決算の認定について	認 定	9.28
議案第75号	平成18年度瀬戸内町国民健康保険特別会計決算の認定について	認 定	9.28
議案第76号	平成18年度瀬戸内町介護保険特別会計決算の認定について	認 定	9.28
議案第77号	平成18年度瀬戸内町と畜場事業特別会計決算の認定について	認 定	9.28
議案第78号	平成18年度瀬戸内町船舶交通事業特別会計決算の認定	認 定	9.28
議案第79号	平成18年度瀬戸内町古仁屋港上屋事業特別会計決算の認定について	認 定	9.28
議案第80号	平成18年度瀬戸内町農業集落排水事業特別会計決算の認定について	認 定	9.28
議案第81号	平成18年度瀬戸内町簡易水道事業特別会計決算の認定について	認 定	9.28
議案第82号	平成18年度瀬戸内町水道事業会計決算の認定について	認 定	9.28
議案第103号	平成19年度久慈漁港漁村再生交付金工事（1工区）請負契約の締結について	可 決	9.28

### ◆ 陳 情

陳情第9号	障害者の生活実態に即した障害者自立支援法の運用に関する陳情	採 択
-------	-------------------------------	-----

### ◆ 意 見 書

障害者自立支援法における利用者負担の軽減措置の拡充等に関する意見書	原案可決
-----------------------------------	------

（提出先） 内閣総理大臣・総務大臣・厚生労働大臣・参議院議長・衆議院議長

議長として、どのような「政治信条」をもって町政運営に当たるのか伺います。

**町長** 本町が抱える課題として、行財政改革町民の安心安全の確保・少子高齢化・子育て支援対策・青少年教育改革・海洋汚染防止対策等の多くの課題があります。これらを解決するには、助け合い支え合う「結い」の精神を持った地域社会を創るべく再構築を図る必要があります。町民との共生・協働なくしては成し得ないものであります。これらの四年間私は、「創ろう住民参加のまち」を基本理念に

**鎌田 愛人 議員**

【一般質問】  
9月定例会では、7人の議員が質問しました。





「住みたい・住んでよかったまち瀬戸内町」を創出するため、九つの公約を掲げました。私は、この公約の実現を目指して全身全霊で頑張る覚悟があります。

**議員** 行財政改革への取り組みについて、具体的政策を伺います。

**町長** 「町行財政改革大綱・実施計画」、「集中改革プラン」を基本としながらも、確実にスピード感を持って「支出の合理化」と「行政組織のスリム化・効率化」を推進します。「支出の合理化」については収入に見合った支出を行い、限られた予算を効率的に執行することが重要であり、政策目標に加え費用対効果等も考慮に入れ、個々の投資案件の優先順位を付けることも必要であります。また、地方債については、発行額の縮減を図るとともに、地方債残高の減少と実質公債費比率の減少を中長期の課題として取り組んでまいります。「行政組織のスリム化と効率化」については適正な人員削減計画や指定管理者制度の促進と電算

化による事務効率の向上を図り、職員一人当たりの能率アップを進めていきます。地方分権による業務の増大に対しては、事務改善審議会等の意見も参考に人員配置の適材・適所を図り対処してまいります。行財政改革は、率直に申し上げて職員の改革でもあります。町長自ら率先遂行するだけでなく、職員が町民から求められている課題の重要性を十分認識、理解して無駄なタイムロス無くし各人の能力を町民の福祉向上のため最大限に発揮することが必要であります。

**議員** わが町の発展に向けた取組みについて、具体的振興策を伺います。

**町長** 一・産業界や大学、国や県及び関係する市町村、そして郷友会等に積極的に関わりを持ちトップセールスマンとして瀬戸内町のPRに努めてまいります。  
二・必要な企業立地・企業誘致を強力的に推進するための情報収集に必要な基盤となる各種通信情報網等の整

備の促進を始め集落の活性化を図るために集落の担い手となり得る団塊世代の受け入れやU・イターン者対策を進める施策として移住交流・支援策を推進してまいります。

三・黒糖・キビ酢・蘇鉄・子牛の生産を始めとして、真珠養殖・クロマグロ生産等が地域経済をリードしてきますので、これらが本町経済全般の浮揚に波及するように、更なる進展を目指して強力に取り組んでまいります。

## 林 健一 議員

**議員** 町長の掲げられた、マニフェストの実現について、房町長が就任されて三カ月目に入っておりますが、選挙の際に町民に提示されたマニフェストは、どのように進められてゆくお考えなのかお尋ねします。

**町長** 私は先の町長選挙で九つの公約を掲げました。それは次の通りであります。  
①町民主体の政治を目指し徹底した住民サービスに努めます。

②青少年の教育改革、子育て支援に取り組みます。  
③医療と福祉対策に取り組めます。  
④生活環境政策に力を入れます。

⑤農業・漁業の振興に取り組みます。  
⑥観光の振興に力を入れます。  
⑦行財政機構の改革に積極的に取り組めます。  
⑧町長専用公用車を廃止します。  
⑨町長退職金を大幅に減額します。

この公約の中で町長公用車はすでに廃止しております。また、町長退職金の減額については鹿児島市町村総合事務組合との事務手続き上の関係上協議を進めているところであり、その後の七つの公約については、早急に取り組み可能なもの、あるいは慎重かつ時間をかけて持続的に取り組むを進めなければいけないものがあり、その都度臨機応変に公約の実現に向け対応していきたいと考えています。ちなみに行財政機構の改革に積極的に取り組む公約の実現の一環として、総合案

内窓口を役場玄関前に開設し来庁した住民のサービスに努めてまいります。

## 岩井義照 議員

**議員** 本町の将来像について所信表明で前町長から詳細な事務引き継ぎとなつていますが、内容を詳しくお示し下さい。

**町長** これまでの施策全般についてお話を伺ったところでもあります。その中でも本町の経済・財政状況・行財政改革の推進・地域経済の活性化・交通通信基盤の整備・防災体制・産業の振興・保健福祉の向上・教育文化の充実等多岐に渡って説明を受け現状認識を深めるとともに責任の重さを痛感しているところがあります。

**議員** 簡素で効率的な行政運営システムとありますが、内容をわかりやすくご説明して下さい。

**町長** 助け合い、支え合う「結いの精神」を育て「自助・互助・公助」の仕組みを再生し、地域住民は勿論、N



が試されている時代となつてきております。

## 向野 忍 議員

**議員** 町長の描く本町の将来像について

町長の所信表明を見る限りにおいて、瀬戸内町が何を目指し、どこへ向かっているのか、全く見えてきません。

**議員** 町長がお示ししている自立・地域力・財政力を詳しく判りやすく説明して下さい。

**町長** 地域社会を自分たちの知恵と経験で、維持、発展させていくためには、行政と住民協働の関係を築くことによつて、行政の受益者としての立場ではなく、地域の行政にその主催者として参画し、地域の行政の決定者としての役割を果たしていくことが地域力として求められております。また、国も交付税等の配布を支援する上で、地域がどれだけ活性化するために、自立自興策を図り実施してきたかによつて財政上の増加支援を行う制度となつてきており、それぞれの地域の持つ総合力

**議員** 住民との情報共有について

住民参加型のまちづくりを基本理念に掲げ、住民との情報共有を図るとされているが、情報の共有化における具体的な施策としてどのようなことを考えておられるのか伺います。

**町長** 具体的には、提供される情報内容の拡大、町広報誌やホームページの充実、地区毎、団体毎、校区毎等の町民と語る会の開催、防災無線を活用した広報等であります。その他に、国・県が推進している各種通信情報基盤（地上デジタル放送、ブロードバンド、携帯電話等）の施設整備を促進することにより、受け取る情報格差の解消を図り、発信する情報量の拡大と高速化に努め情報の共有化を促します。

## 榮江 靖 議員

**議員** 「せとなみ」の運航に係わることについて

「新船せとなみ」は、約三億三千八百万円を投じて平成十五年四月の就航以来、快適性、安定性のキャッチフレー

ズの下、時間短縮も図られ今日に至っている。次の点について伺います。

一日二航海ダイヤの現状について

**町長** 平成十五年度～平成十六年度にかけて日曜日に与路発二航海で試行運航しておりますが、その結果次の四点の課題が残ったということであり

①地域集落や利用客から古仁屋を起点にする運航の要望があったこと。

②冬季において悪天候、日没後の入港、出航により運航に危険が伴うこと。

③試行期間中の旅客数及び貨物量の輸送増が見込めなかったこと。

④燃料等運航経費が増大すること。

この四点の課題が残り、現には至りませんでした。

**議員** 本町が計画している「三点航路」の目的、推進状況について

**町長** 「三点航路」の目的は、与路島、請島の住民が加計呂麻島における福祉、医療サービスが受けられると共に、多

目的な交流の場として、又、産業等の流通体系と観光客流動化の向上を図ることであり

ます。次に、当計画の推進状況ということでありますが、まず地域住民への説明会を与路・請阿室・池地集落で実施し、主に利用計画の趣旨、運航計画及び予想効果等を説明すると共に住民アンケート調査を行いました。また、「せとなみ」の試験運航に伴う事前調査を、せとなみ船長、機関長及び運航管理者と共に、干潮時、満潮時にそれぞれ実施いたしました。当計画の定期船「せとなみ」は、与路島・請島住民の生活の足であり、また唯一の公共交通機関でもあることから、まず利用者である地域住民とのコンセンサスを充分に取り、理解を得たうえで計画を進めていくべきものと考えます。

**議員** 農業の振興について

これまでの「さとうきび栽培」・「肉用牛の多頭飼育」等による荒廃地解消の進捗状況について

**町長** 平成十五年から取組んでおります遊休地開拓は、平



成十八年度までに加計呂麻地区五二六・四アール、本島地区六〇四・五アール、合計一

一三〇・七アールが完了し、平成十九年度は、諸鈍地区の十五・二アールが終了し、現在於齊地区約二〇アールの開墾実施中であり、さとうきび栽培面積については、遊休地開拓を実施する前の平成十四年度栽培面積二〇・六ヘクタールに対して平成十八年度栽培面積三三・三ヘクタールと十二・七ヘクタールの面積拡大が推進されております。肉用牛については、平成十三年度から実施した畜産基盤再編総合整備事業により諸鈍地区一〇三アール・安脚場四一アール・阿鉄三六アール・勝浦一二六アール・嘉鉄四十アール・木慈四二アールの合計三八八アールの飼料畑の造成が図られ、粗飼料確保のための面積拡大が推進されております。

**議員** 町営「へき地診療所」について

医師三人体制で、院内診療を初め巡回診療、月二回の当番医と多忙を極めているもの

と思考し、次の点について伺います。

**町長** 巡回診療の現状について

巡回診療業務の現状としては、請島・与路島・加計呂麻島・本島側の旧西方地区（阿室釜から西古見まで）を隔週ごとに巡回し、地域住民の診療に当たっており、月二回平均の割合となっております。現在の診療回数を含めた巡回診療体制については、患者数、職員数、規模、収入面等から判断し、適切な体制となっておりますものと考えております。

## 平岡和治 議員

**議員** 加計呂麻地域の活性化について

昭和の時代から実施されてきた特定離島対策事業、現在の特定離島ふるさとおこし推進事業の結果に対する当局の評価について

**町長** 本町では、加計呂麻

島・請島・与路島の三島が対象地域であり、昭和四十四年から今日まで、約四十九億三千万余の事業費が投資され民政安定に大きな役割を果たしてきました。現在、加計呂麻

地区は観光においても注目的でありU・イーターン者、ダイベンダ客等も増加傾向にあります。また、産業の振興においてもキビ酢が全国ブランドに成長しつつあり増産に向けての施設整備も進み、加計呂麻島・請島・与路島の生活環境の向上が図られております。

**議員** 加計呂麻地域を対象とした、ふるさとおこし推進事業の事業費配分に対する当局の基本的な考えについて

**町長** 加計呂麻島・請島・与路島の均衡ある発展を念頭に置くとともに集落数・人口数を勘案しながら各集落からの要望を受けた事業の、各種実施要件の整備が整っており、なおかつ緊急性等を考慮し、県において採択基準の適合が図られるかなどを検討し実施しているところであります。

**議員** 行財政改革について

「瀬戸内町集中改革プラン」の十八年度実施効果について

- ①住民のサービス向上
- ②事務事業の見直し

- ③定員管理の適正化
- ④歳出抑制対策

**町長**

①窓口カウンターの改善や各種申請・届出等の手続きについてインターネットを利用して自宅や職場から手続きができる電子申請共同運営システムを構築し、住民の利便性の向上を図りました。

②係の統廃合や特殊勤務手当・調整額・時間外勤務手当・旅費規程等の改正を行い、大島袖技能者養成所については指定管理者制度を導入し、行政の効率化を図りました。

③定年退職者に加え勸奨退職者も増えたため、集中改革プランに示している平成十八年度末現在の職員数二百四十二名より九名少ない二百三十三名となっております。

④歳出抑制対策

・人件費につきましては、勸奨退職を含む職員数の減による影響などにより約一億四千万円程度の削減ができました。

八千五百万円程度の削減で、賃金・旅費・需用費・委託料その他すべての費目で削減しております。

・補助費等につきましては、二千万円程度の削減であります。

・維持補修費につきましては、六百万円程度の削減であります。

・普通建設事業費につきましては漁村コミュニティ基盤整備事業、公営住宅建替事業等の大型事業実施に伴い、一般財源ベースで七千万円程度の増となっております。

## 清原博和 議員

**議員** 政治姿勢と選挙公約について

住民税の大増税、社会保障の切り捨て、消えた年金等々貧困と格差が町民の間でも確実に拡大している中、町民の暮らしや福祉、教育の充実に図るため下記の項目について、町長の見解を示されたい。

①憲法を護り、地方自治法に基づき町民本意の政策を進める。

②町長及び特別職の退職金手



当を現行の額を基準として三十%～五十%の範囲で減額する。

③町長専用の公用車を廃止し一般公用車を使用する。

④国民健康保険特別会計の赤字解消の手段として当面の間は、一般会計から繰り入れて、国保税の値上げは行わない。

⑤加計呂麻の小中学校の給食を元の学校給食制度にする。

⑥大島海峡は将来にわたって水産・観光の基地であり、軍事基地の拡大・増強には反対する。

**町長**

①地方自治法に基づく町民本位の政策を進めて参ります。

②町長の退職手当を現行の額を基準として三十%の減額を検討しております。

③町長専用の公用車はすでに廃止し、一般公用車を使用しております。

④健全化に向けた対策としては、現在推進している対策強化を図り単年度収支の改善に努め、累積している赤字分については、県の制度資金活用等も考慮し諸情勢を判断しながら中長期的に

改善を計らなければならぬと考えています。

**教育長**

⑤今後、自校方式に切り替えた場合、新たな調理室の改造・新設・備品等の整備もしなければならぬことから大変厳しいものがあります。財政当局や学校給食に携わる関係者から意見を聞いたたり、実態を調査し、その結果を踏まえながら検討したいと考えております。

**町長**

⑥大島海峡は、本町の観光・水産業の振興には欠かせない海峡であります。海上自衛隊奄美基地分遣隊の増強は、隊員の増により消費人口の増加や、隊員の休養などが期待され、地域経済に及ぼす影響は大きいものがあると考えております。また、自衛隊員は常日頃、火災や大雨・台風時には出動され本町住民の財産・生命を守っており、防災活動の充実が図られるものと考えられます。



**編集後記**

早くも師走。広報「せとうち」に携わり半年余りが過ぎました。メッセージを伝えることは勿論、その表現、表記に至るまで、気を遣い大変なこともありましたが、「たかがペン、されどペン」というか。小さな広報紙でもそうなのに、マスコミが「第4権力」と言われるのもよく分かる、と慰めたこともありました。▼一方で、瀬戸内の可能性を感じた半年でもありました。足もとを違った眼で見つめた時の「灯台下暗し」的な発見や、島に潜む「眠れる獅子」的エネルギーの確認、等々。そんな時に「自然遺産」に向けて始動、「クロマグロ」輸出に国際シンポ、そして「につぼん丸」来航。世界をととても近くに感じ、わくわくした方も多いのでは。この「エネルギー」と「素材」が合体したらすごいことが、いつの日か、上海あたりから奄美にチャーター便が就航し、マグロ輸送船が海の駅に接岸、町には世界中から観光客が訪れ、マグロや袖の仲買人たちの異国語が飛び交う。たまらず入管と税関が出先事務所を設置、お陰で奄美から直で世界に行けるように、そんな未来予想図もまんざら夢でもないのかも。そんな「胎動」を感じた今年、来年はそれがもっと大きな「振動」になるといいますね。

**戸籍の窓**

**お誕生**

**おめでとー**



名前	年齢	保護者	住所
稲田 恵大	1	孝夫	古仁屋
新田 妃香	1	功一	古仁屋
阿部 葵心	1	卓美	古仁屋
藤野 由起	1	修一	古仁屋
定岡 希透	1	繁夫	古仁屋
沖島 葵	1	孝文	古仁屋
白戸 美空	1	耐子	古仁屋

**ご結婚**

**おめでとー**



氏名	年齢	本籍
中島 拓人	30	薩川
濱田 朋子	28	龍郷町
茂村 幸司	27	芝
稲江 茜	26	古仁屋



**お悔やみ 申し上げます**

氏名	年齢	本籍
岡田 スガ	90	嘉鉄
浅井 厚仁	70	古仁屋
吉岡 俊雄	89	古仁屋
森 正吉	93	請阿室
吉田 シギ	97	古仁屋
池田 忠夫	79	網野子
義永 みどり	43	古仁屋
森田 千歳	83	古仁屋
巖原 馨	76	古仁屋
元永 勉	88	阿木名



「お誕生・ご結婚・お悔やみ」は10月に届出のあった分のうち、希望者のみを掲載しています(敬称略)。

**香典返し(社協へ)**

十月分

(遺族)	(故人)	(住所)
朝谷 文義	真悟	手安
岡田 信也	スガ	瀬久井
吉岡 昭子	俊雄	春日
池田 トク子	忠夫	宮前
備 優一	キヨ	生間
元永 貞子	勉	阿木名
合計	金80,000円也	

**広報紙郵送料**

(氏名)	(住所)
栄 陽一郎	豊中市
瀬本 健	愛知県
前田 義久	川崎市

**年末の大掃除代行します!**

- ◆換気扇・レンジフード分解クリーニング
- ◆浴室(カビ、水垢、タイル、浴槽、蛇口、天井、汚れ除去)
- ◆トイレ(尿石、黒ずみ汚れの除去)
- ◆その他(ガラス窓、網戸、サッシ、玄関廻り、仏壇など)

**(有)瀬戸内ビルシステム**

代表取締役 重村 太三  
瀬久井 72-1228